北海道新幹線を活用した
教育旅行ガイドブック

Hokkaido Story
Collection

北海道で
いつまでも心に残る
物語のような旅を。



















［編集・発行］

北海道総合政策部交通政策局交通企画課

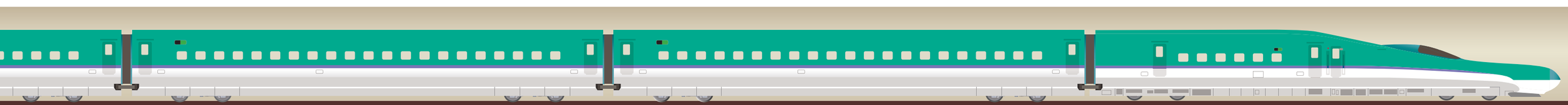
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL（011）231-4111 FAX（011）232-4643

発行 令和5年2月

※本誌全ての無断転載を禁じます。※本誌に掲載されている情報は2022年1月時点のものです。
※予告なく変更される場合がありますので、事前に各施設へお問い合わせください。

北海道新幹線
つながる NAVI

北海道
教育旅行サイト



http://hokkaido-shinkansen-navi.jp/

WELCOME HOKKAIDO

北海道

北海道新幹線の誕生で高まる期待

北海道と東北がつながる　新時代へ。

北海道が、グッと身近な存在に。

2016年の北海道新幹線開業によって北海道と東北は、より身近な存在になりました。さらに2030年度末の札幌開業によって気軽に往来可能になることでしょう。このガイドブックでは、北海道新幹線によってつながる道南エリアと道央エリアを中心に、施設や体験などをご紹介します。未来を担う子供たちの育成に、ぜひご活用ください。



新函館北斗駅まで

東京	最速3時間57分
大宮	最速3時間34分
仙台	最速2時間26分
盛岡	最速1時間46分
新青森	最速57分

（2022年11月現在）

2030年度末（予定）
札幌開業





北海道新幹線を利用した教育旅行が増加中！

●東北、関東エリアの中学校、高校にて多くの引き合いがあり！
●JR北海道や自治体関係者からのサポートあり！
・各種会議や会合での説明補助（職員会議や保護者説明会など）
・事前学習資料の提供
・現地視察時の案内

東北地方から北海道新幹線を利用した教育旅行の推移［中学校］

2019年度 8校　2020年度 32校　2021年度 64校

関東地方から北海道新幹線を利用した教育旅行の推移［中学校・高校］

2019年度 13校　2020年度 6校　2021年度 37校

※2020年度は緊急事態宣言の影響による実施減

（2022年11月現在）

2022年以降も
北海道方面を
検討・選択する
学校が増加傾向

中学校計画輸送協力団体（連合体）

（2021年11月現在）

メリット

●連合体割引の適用により、運賃・料金が50％引きとなります。（保護者の費用負担軽減）
●通常の学生団体と比べ、利用日と利用列車が早く決まります。
●概ね前年度から宿泊施設を含む、修学旅行全体の計画が可能。
●専用臨時列車が設定された場合は一般のお客様との混乗はありません。

TO THE NEXT GENERATION

東北から北海道をダイレクトに結ぶ

北海道新幹線で行く教育旅行

連合体輸送とは・・・

1. JRから提案される列車の利用
2. JRから提案される期間内での利用
3. 往復での利用
4. 各学校様からのお申込み内容をJRにて調整

→ 連合体輸送による特別割引が適用 ※1
→ 個別手配よりも早く申込が可能

※1 小学生・・・運賃30%引き 料金50%引き/中学生・高校生・・・運賃50%引き 料金50%引き

連合体輸送の指定列車（参考：2024年度中学校向け）

東北エリア発の一例

往路 午前中に北海道到着
はやぶさ1号：仙台8:05発・盛岡8:50発 ➡ 新函館北斗10:53着

復路 夕方に帰着
はやぶさ34号：新函館北斗14:48発 ➡ 盛岡16:44着・仙台17:29着

関東エリア発の一例（仙台での乗換）

往路 お昼頃に北海道到着
やまびこ号など：宇都宮8:30頃発 ➡ 仙台9:40頃着
はやぶさ7号：仙台9:51発 ➡ 新函館北斗12:17着

復路 夕方に帰着
はやぶさ28号：新函館北斗12:48発 ➡ 仙台15:29着
やまびこ号など：仙台15:40頃発 ➡ 宇都宮17:00頃着

関東エリア発の一例（東京・大宮からの直通）

往路 お昼頃に北海道到着
はやぶさ7号：東京8:20発・大宮8:43発 ➡ 新函館北斗12:17着

復路 夕方に帰着
A*はやぶさ28号：新函館北斗12:48発 ➡ 大宮16:39着・東京17:04着
B*はやぶさ32号：新函館北斗13:39発 ➡ 大宮17:39着・東京18:04着

※A*は関東5県（埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬）の設定列車です。※B*は東京都の設定列車です。

北海道新幹線の主な設備

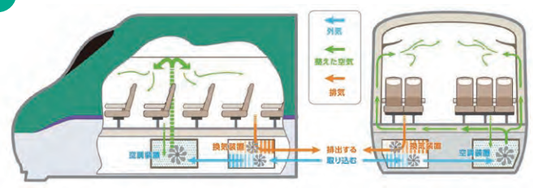
北海道新幹線車両の換気について

JR北海道では、新型コロナウイルスの感染予防対策として列車内の換気を徹底しています。北海道新幹線においては、車両に設置した空調装置や換気装置により6分～8分程度で車内の空気を入れ換えています。



車内換気イメージ

高速走行する新幹線車両は「気密性」を高めているため換気装置より、常時室内空気の一部を排出し、車外の空気を取り入れています。

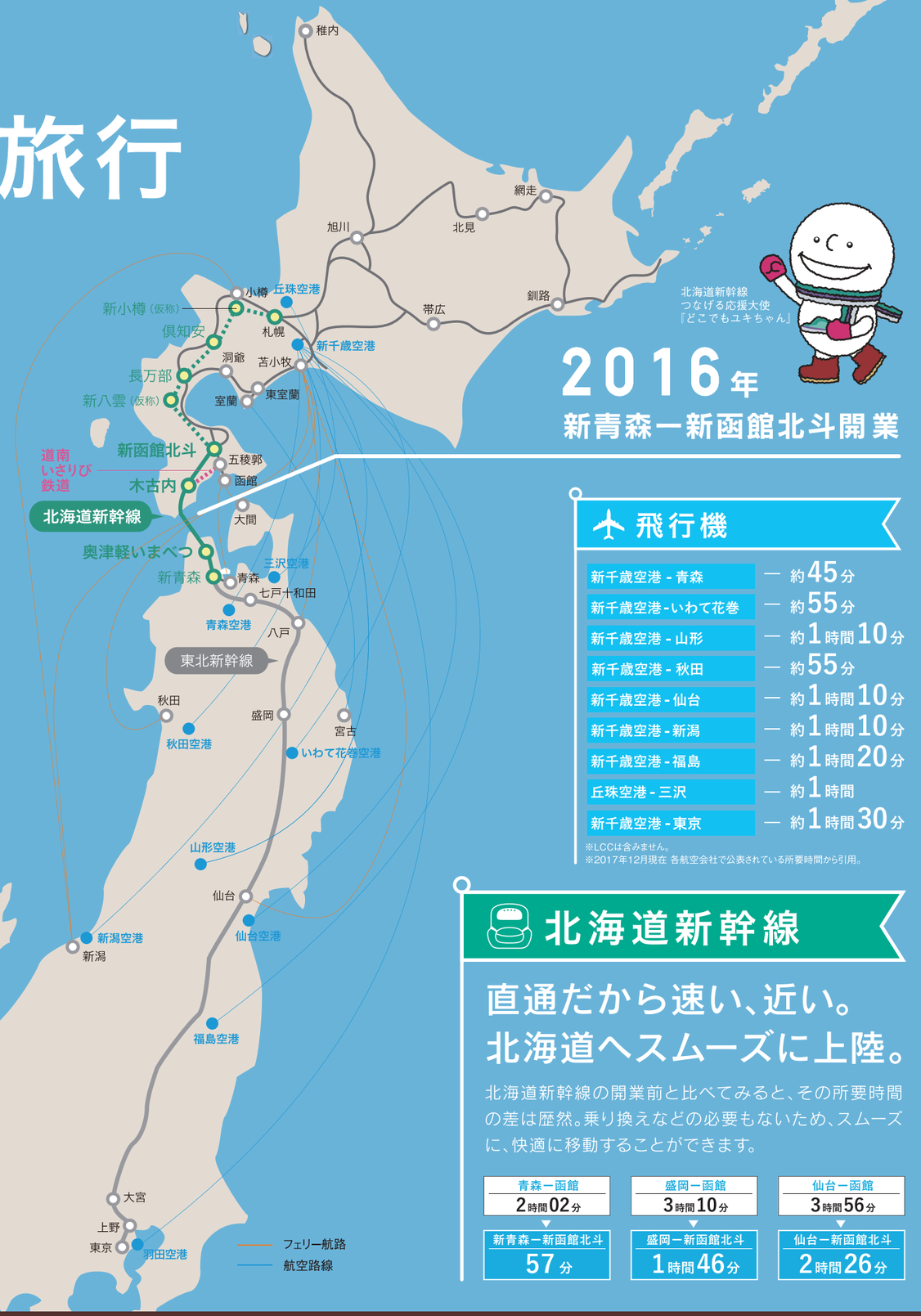


車内設備

- 足元ゆったりの座席でくつろぎながら、南から北移りゆく景色も魅力。



- 全ての北海道新幹線にてwi-fiが利用でき、修学旅行中でも学校ホームページの更新が可能。
  ※携帯電話の電波がない区間は除く
- 青函トンネル全区間で携帯電話サービスが利用可能。



北海道新幹線
つなげる応援大使
『どこでもユキちゃん』

2016年
新青森ー新函館北斗開業

飛行機

新千歳空港 - 青森	約45分
新千歳空港 - いわて花巻	約55分
新千歳空港 - 山形	約1時間10分
新千歳空港 - 秋田	約55分
新千歳空港 - 仙台	約1時間10分
新千歳空港 - 新潟	約1時間10分
新千歳空港 - 福島	約1時間20分
丘珠空港 - 三沢	約1時間
新千歳空港 - 東京	約1時間30分

※LCCは含みません。
※2017年12月現在 各航空会社で公表されている所要時間から引用。

北海道新幹線

直通だから速い、近い。北海道へスムーズに上陸。

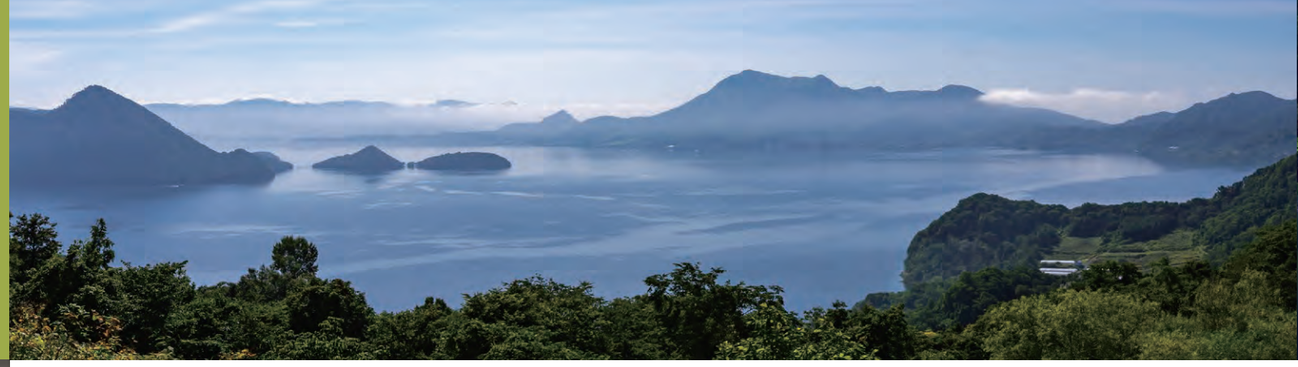
北海道新幹線の開業前と比べてみると、その所要時間の差は歴然。乗り換えなどの必要もないため、スムーズに、快適に移動することができます。

青森ー函館	盛岡ー函館	仙台ー函館
2時間02分	3時間10分	3時間56分
新青森ー新函館北斗	盛岡ー新函館北斗	仙台ー新函館北斗
57分	1時間46分	2時間26分

HOKKAIDO SINKANSEN

自然

北海道の代名詞ともいえる大自然。札幌をはじめとする都市と、大切に守られてきた自然との共生は、これからの時代に必要なものです。





未来

道民は新しいことへの挑戦を恐れないという特徴も。そのため世界的に人気のデジタルコンテンツやロケット開発などの先駆けになっています。



大自然、歴史、文化、そして未来。
これからの「学び 」を北海道から。



文化

アイヌが育んできた文化や江戸時代から続く移住者たちが築いた文化など、北海道独自の多様な文化をそこかしこで学ぶことができます。



歴史

開拓のイメージから歴史が浅いと思われがちな北海道。実は旧石器時代や縄文時代の遺跡などが残される歴史深い土地なのです。



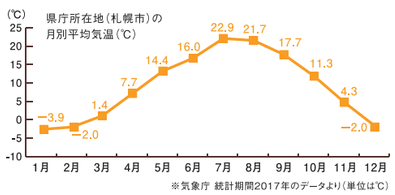
意外と知られてない「北海道のリアル」。

北海道は日本最大の面積を持つ都道府県。179の市町村から成り立っており、ここに約530万人が暮らしています。しかし、実際はその約1/3が札幌市に集中しています。

面積	83,424㎢
人口	5,224,614人
人口密度	66.6人/㎢

※人口・人口密度は2015年国勢調査人口等基本集計結果より





※気象庁 統計期間2017年のデータより（単位は℃）

北海道は、ほぼ全域が日本で唯一の亜寒帯気候。イメージ通りに「寒い」エリアで、100年以上前に旭川市が記録した日本観測史上、最低気温となる-41.0℃は今でも破られていません。また、近年では夏も暑く、時期によっては日本で一番暑いのが北海道という日があるほど。その分、春夏秋冬がはっきりとしているので、四季それぞれの景色や観光を楽しむことができます。



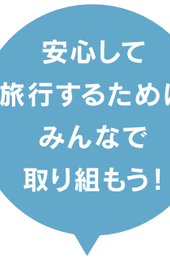
新しい暮らしや旅を考えた「新北海道スタイル」

今、北海道の街なかを歩いていると目にするこのマーク。これは新型コロナウイルスとの闘いが長期化するなか、「新しい生活様式」を実践するために、新しいライフスタイルやビジネススタイルの確立に向けて取り組んでいるという証です。咳エチケットや手洗い、換気など、今となっては当たり前のことばかりですが、そのひとつひとつを常日頃から見直すことで、これからも安心して暮らしていける環境づくりを目指したもの。



新北海道スタイル

私たち道民の暮らしだけではなく、旅行などで北海道に来られる皆さんにも安心して滞在し、楽しんでいただけるように道民が一丸となって取り組んでいます。



NEW LEARNING ISLAND

Another Stories
HOKKAIDO
Histories

日本でのルーツが
こんなところに？



北海道 はじめて物語

日本初、日本人の手による 最初のビール工場 開拓使麦酒醸造所

札幌に麦酒工場が誕生したのは1876年のこと。今もなお当時を思い起こさせるレンガ造りの佇まいが残されています。ここで日本で初めて、日本人によるビールづくりが行われました。その翌年には「札幌ビール」と名付けられたビールが販売を開始。そのラベルには開拓使のマークでもあった北極星が描かれていました。
そんな日本のビール史を知ることができる





サッポロビール博物館
〒065-8633 北海道札幌市東区北7条東9丁目1-1
TEL 011-748-1876

サッポロビール博物館が「札幌」駅近くに。こちらは四季折々の木々や花々が楽しめる庭園があり、建物そのものも北海道遺産にも指定されたフォトジェニックなスポットとしても楽しめます。



日本初の洋式築造城郭 五稜郭

幕末、防備強化のために造られた城郭。幕府直轄の役所でしたが、明治維新が起こると旧幕府軍と新政府軍による箱館戦争の舞台に。現在は公園として一般公開され、桜の名所として親しまれています。

五稜郭公園
〒040-0001 北海道函館市五稜郭町44番地
TEL 0138-31-5505

日本初であり発祥の地 パークゴルフ

グラウンドゴルフをもとに考案されたスポーツ。今では北海道の至るところにパークゴルフ場があるほど人気に。老若男女が楽しむことができます。



幕別町観光物産協会
〒089-1701 北海道幕別町忠類白銀町383
TEL 01558-8-2111

日本初の女子修道院

厳律シトー会 天使の聖母 **トラピスチヌ修道院**



1898年、フランスから派遣された修道女によって創立され、北海道にキリスト教を伝えたとされています。現在の聖堂は1927年に再建されたもの。

トラピスチヌ修道院
〒042-0914
北海道函館市上湯川町346
TEL 0138-57-2839

おすすめ！

北海道教育旅行 モデルコース

Model Course

A 日本の歴史コース 09
B サステナブル再発見コース 13
C 縄文の歴史コース 19
D アイヌの歴史コース 23
E 産業の歴史コース 29
F 未来の北海道コース 33
G 北海道まるごと体験コース 37

Hokkaido Story Collection



A コース

日本の歴史コース

北の大地で交わった知恵と文化

道南エリアには函館や松前、江差といった日本史の表舞台となった街が点在しています。
そこには北海道と本州を結ぶ交易があり、その交流を通して新たな文化が根付いていきました。

唯一、アイヌとの交易によって財政を成立させていた松前藩。

日本最北の藩として1604年に誕生した松前藩。当時、北海道の寒冷な気候では米が穫れなかったことから石高で家格が決められず、代わりに江戸幕府から唯一アイヌとの交易が許されていました。本州では手に入らない北方諸地域の産物を独占的に取引するとともに、北海道でとれた水産物や木材などを扱い財政を成り立たせていました。





ニシン漁をはじめ、街の隆盛を象徴する遺跡が残る江差。

松前藩は函館・松前・江差を交易港として、行き来する北前船や商品に税金をかけ、収益を出していました。なかでもニシン漁が盛んだった江差では、最盛期に「江差の五月は江戸にもない」とうたわれるほど。その歴史文化は「日本遺産」として認定され、今でも史跡が多く残されています。

日本で初めて開港した街を守るために築かれた要塞

江戸末期、箱館開港に伴って外国との交渉などを担う箱館奉行所が設置されました。その後、防衛のために日本初のフランス築城方式の星形要塞として移転。箱館戦争を経て1871年に解体されますが、2010年に約150年の時を経て、かつてと同じ場所に復元されました。



STUDY POINT 日本の歴史コースの「学びポイント」

- ☑ 北前船などの交易で財政を支えた松前藩から北海道の資源を学ぶ
- ☑ 北前船による交易がもたらした文化の交流や、その軌跡を辿る
- ☑ 箱館戦争をはじめ、幕末から明治初頭の歴史を物語る遺構を体験する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
このコースに関わる
持続可能な開発目標への取り組みは

8 働きがいも経済成長も　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを

Story Chart ストーリーチャート

2泊3日
往路／新幹線
復路／新幹線

Day1

出発
新幹線
新函館北斗駅到着
北斗市
12:25
1 松前城・松前城資料館見学
松前町
13:10
2 松前藩屋敷見学
松前町



江差町見学
15:05
江差町
七飯町内宿泊
18:30
七飯町

Day2

七飯町内出発
七飯町
09:10
3 大沼国定公園でネイチャー体験
七飯町



13:00
4 鷲ノ木遺跡見学
森町



14:50
函館市
函館市 縄文文化交流センター
17:30
函館市
元町エリア散策



18:35
函館市
函館山ロープウェイ
19:40
函館市
函館市内宿泊

Day3



函館市
函館市内出発
09:55
函館市
函館朝市で朝市体験学習
11:20
5 函館市
箱館奉行所見学



11:55
函館市
五稜郭タワー見学
00:00
北斗市
新函館北斗駅到着
新幹線
帰着



函館は幕末の開港地のひとつだったんだ

施設紹介



1 松前城跡・松前城資料館

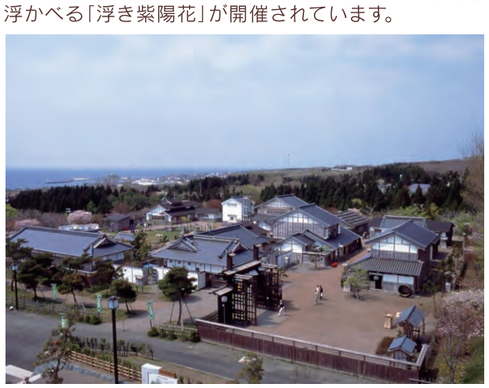
松前城は、江戸末期に築城された北海道唯一、日本最後の日本式城郭。1941（昭和16）年に三層の木造天守と本丸御門、東塀が国宝に指定されたものの、後に天守が焼失。その後、復元された天守は資料館として藩政時代の資料などが展示されています。



松前城・松前城資料館
〒049-1511 北海道松前郡松前町字松城
TEL 0139-42-2216

2 松前藩屋敷

まるでタイムスリップしたかのように江戸時代の松前藩が追体験できるテーマパーク。奉行所や武家屋敷、番屋、旅籠などが軒を連ね、当時の松前の様子を伝えています。武将、お姫さまなどに変身できる甲冑着付け体験も人気。毎年、夏には藩屋敷内の水路に紫陽花を浮かべる「浮き紫陽花」が開催されています。



松前藩屋敷
〒049-1507 北海道松前郡松前町字西館68
TEL 0139-43-2439



ガイドが教える松前の魅力。
松前の歴史を詳しく教えてくれるガイドが敷地内を案内。奉行所でのやり取りから町人の四方山話など、すみずみまで解説。当時の活気が間近で感じられるようなガイドメニューも人気です。

3 大沼国定公園

活火山である駒ヶ岳を中心に、噴火によってできた大沼、小沼をはじめとした大小の沼、周辺地域一帯が指定された自然公園。七飯町・鹿部町・森町にまたがっており、総面積は9,083ha。雄大な風景が人気で、春から秋にかけては遊覧船やサイクリング、冬には氷上ワカサギ釣りやスノーモービルなどのアクティビティが楽しめる自然豊かなスポットです。

大沼国定公園
〒041-1354 亀田郡七飯町大沼町85-15
TEL 0138-67-3020



4 鷲ノ木遺跡

森町にある縄文時代後期前半（約4,000年前）の遺跡で、環状列石（ストーン・サークル）と竪穴墓域、配石遺構や竪穴住居が発見されました。なかでもの環状列石は完全な形で見つかり、その規模は北海道内では最大。墓域と離れて作られていたことから、ここは儀式を行う場所であったとされ、当時の祭祀・儀礼や精神世界を知る上で重要な遺跡となっています。また鷲ノ木遺跡は、高速道路建設中に発見されたため、その後の高速道路は遺跡の下にトンネルを掘って通されました。



鷲ノ木遺跡
〒049-2321 北海道茅部郡森町字鷲ノ木町
TEL 01374-3-2240

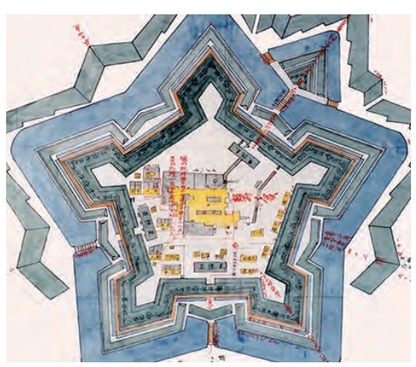


5 五稜郭公園・箱館奉行所

かつて箱館戦争などの舞台となり、国の特別史跡に指定される五稜郭。現在、春には桜の名所として、冬にはライトアップされた堀の美しい風景を楽しめる公園として多くの人々に親しまれています。また、2010年に復元された箱館奉行所の館内では、五稜郭の歴史などを学ぶことができます。

五稜郭公園
〒040-0001 北海道函館市五稜郭町44
TEL 0138-21-3456

箱館奉行所
〒040-0001 北海道函館市五稜郭町44番3号
TEL 0138-51-2864



わずか7年で取り壊された奉行所。
箱館戦争後、明治政府はこの奉行所を使うことはなく、そのまま解体。築造から約150年の時を経て、同地に復元されました。



B コース

サスティナビリティ再発見コース

時代を超えて持続可能な社会を考える

北海道の代名詞ともいえる雄大な自然。森や山、海だけでなく、そこに吹く風、降りそそぐ雨・雪といった「自然」との共生を含めた持続可能な暮らし方を考えていきましょう。



日本海の「強風」を活用した北海道初の蓄電池併設風力発電所

松前町には日本海から吹く「強風」を利用した風力発電所があります。かつて強風は町にとって悩みの種でしたが、今では町のエネルギーを担う財産に。現在は災害時の停電に備えて、その電力を町全域に供給できるよう検討中。さらに町の電力全てを再生可能エネルギーにすることも目指しています。





江戸時代から着目されていた大地と海の恵み

実は松前や江差は、明治の開拓期よりも前、江戸時代から栄えていました。その背景には豊かな森林資源があり、さらにオホーツク海まで至る水産資源も。米が収穫できなかったことから「無高の藩」といわれていましたが、そういった資源を活かすことで、交易によって繁栄していました。

縄文時代は、自然と共生した「元祖サステナブル」な時代

縄文時代は約1万年に渡って続いていました。当時の人々は気候変動や自然環境の変化にも適応しながら狩猟、漁労、採集を基盤に暮らしてたとされています。そこでは自然との共生と循環を根底に現在でいう「持続可能な社会」がつくり出され、定住を果たしていました。



STUDY POINT

サスティナビリティ再発見コースの「学びポイント」

- ☑ それぞれのエリアの特性を活かした再生可能エネルギーを知る
- ☑ 自然体験を通して、多種多様な動植物との共存について理解を深める
- ☑ 自然と共生するためのヒントを縄文時代の遺跡から学ぶ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
このコースに関わる
持続可能な開発目標への取り組みは



Story Chart ストーリーチャート

2泊3日
往路／新幹線
復路／新幹線

Day1

出発
新幹線
新函館北斗駅到着 北斗市
12:25
1 リエネ松前 風力発電施設見学（車窓）



13:30
松前城・松前藩屋敷見学 松前町
15:50
江差町散策 江差町
18:50
七飯町内宿泊 七飯町

Day2

七飯町内出発 七飯町
09:10
2 大沼国定公園でネイチャー体験 七飯町





13:00
3 史跡大船遺跡見学 函館市



14:00
4 函館市縄文文化交流センター 函館市
16:30
湯の川温泉 函館市
19:00
4 函館山ロープウェイ 函館市



20:30
湯の川温泉宿泊 函館市



Day3

湯の川温泉出発 函館市
09:00
5 函館朝市で朝市体験学習 函館市



10:00
新函館北斗駅到着 北斗市
新幹線
帰着



施設紹介



1 リエネ松前風力発電施設

2019年から運転を開始した風力発電所。北海道電力ネットワークの「風力発電設備の出力変動緩和対策に関する技術要件」を満たした初めての風力発電所で、蓄電池システムの利用により安定した電力供給が可能に。現在、風車は12基稼働しており、その大きさはブレードを含めると全高148mという大迫力。「風」を町の資産にする、持続可能な社会に向けた象徴的な存在です。



リエネ松前風力発電施設
〒049-1501 北海道松前郡松前町建石

2 大沼国定公園 ネイチャー体験

駒ヶ岳の裾野に広がる大自然を満喫するアクティビティ。湖に浮かぶ島々を眺めながら走るサイクリングは、森と一体になるような心地よさが感じられることでしょう。また、ボートやカヌーに乗って湖上へ出ると、水面近くから望む駒ヶ岳の風景が、きっと忘れられない思い出に。この他にも駒ヶ岳への登山、森の散策、冬には氷上ワカサギ釣り、スノーモービルなどが楽しめます。

大沼国定公園
〒041-1354 亀田郡七飯町大沼町85-15
TEL 0138-67-3020







3 史跡大船遺跡

東日本における代表的な集落遺跡で、縄文時代中期のものといわれています。2021年には世界遺産に登録。竪穴住居や盛り土遺構を復元した「縄文のにわ」をはじめ、当時の環境の再現を目指した「縄文の森」など体験学習広場が整備されています。

史跡大船遺跡
〒041-1603
北海道函館市臼尻町551-1
TEL 0138-25-2030





4 函館山ロープウェイ

函館山からの大パノラマが楽しめる山頂展望台と山麓を結ぶ函館山ロープウェイ。現在のゴンドラは125人乗りで、山頂まで約3分で到着します。また、函館山の自然や景観を守るため支柱のないシンプルな構造を採用。さらにCO_2の排出量が少なく、一度に多くの観光客を乗せられることから環境負荷が少ない乗り物としても親しまれています。



函館山ロープウェイ
〒040-0054 北海道函館市元町19-7
TEL 0138-23-3105



5 函館朝市

北海道・函館のありとあらゆる味覚が集まる巨大な市場です。昭和20年代に近郊の農家が函館駅前で野菜を立ち売りしたことが始まりとされ、昭和31年に現在の場所に移転。古くから市民の台所として親しまれ、広々とした市場の中には魚介類専門店をはじめ道産農産物の直売所、飲食店などが軒を連ねています。活いか釣り堀では、自分で釣ったいかをその場でさばいて食べることも。また、対面販売で試食をしながら買物できることも魅力のひとつです。

函館朝市
〒040-0063 北海道函館市若松町9-19
TEL 0138-22-7981（函館朝市協同組合連合会事務局）



Another Stories
HOKKAIDO
New Wave

北海道から世界へ！
HOKKAIDO CULTURE



Art by KEI / 雪ミク © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net

北海道を応援するキャラクター「雪ミク（初音ミク）」



※写真は2022年のものです。

北海道を応援するキャラクターとして活躍している「雪ミク」は、2010年の「さっぽろ雪まつり」で"真っ白い「初音ミク」の雪像"を作ったことをきっかけに誕生しました。世界各地とつながる窓口である新千歳空港には、常設のショップ＆ミュージアムもあります。
誕生のきっかけとなった「初音ミク」は、北海道の企業であるクリプトン・フューチャー・メディアが開発した、DTM用歌声合成ソフト。プロ・アマ問わず多くのクリエイターが、この「初音ミク」を使用して楽曲を制作したことから一大ムーブメントを起こし、その人気は日本のみならず世界へ。今ではバーチャル・シンガーとしてグッズ展開やライブを行うなど多方面で活躍しています。



雪ミク スカイタウン
〒066-0012 北海道千歳市美々
新千歳空港 国内線ターミナルビル4F
TEL 0123-45-0039



北海道開拓の村

アニメや映画の舞台として「聖地」になった北海道。

アニメやマンガ、映画、小説などの作品の舞台となった街、ゆかりの深い街を旅する「聖地巡礼」が近年、人気です。
そんななか、北海道もまた数々の作品の舞台になっていることをご存知でしょうか。最近では実在する建物や風景がそのまま作中に登場することも多く、自治体とコラボレーションするケースも。登場人物になりきって写真を撮影したり、登場人物が食べたであろう名物を味わったり、サウンドトラックを聴きながら歩いたり、楽しみ方はアイデア次第で広がります。特に北海道は、夏の爽やかな風景や冬の雪景色など季節によって見えるものが変わってくることも。作品の季節に合わせて訪れることはもちろん、違った季節に訪れてみると、また違った表情が楽しめるかもしれません。



博物館 網走監獄



函館 八幡坂



ばんえい十勝



JR根室本線の「幾寅駅」





C コース

縄文の歴史コース

縄文時代から結びついていた北海道 と東北

北海道は日本で唯一、大陸と本州の文化が交わる大地でした。縄文時代の遺跡からも北東北との交流が盛んだった様子がうかがえ、その後の本州との交易をはじめ強い結びつきを感じることができるでしょう。

縄文時代から縁があった北海道と北東北エリア。

道南エリアと北東北エリアは、縄文時代から津軽海峡を挟み、活発な文化交流があったといわれ、同一の「津軽海峡文化圏」を形成。2021年には「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産に北海道・青森県・岩手県・秋田県の遺跡群が登録されました。





火山が生み出した「減災の取組み」と「美しい風景」

北海道の南西部に位置する洞爺湖周辺は明治期に温泉地として賑わうようになりました。しかし、その一方で湖の南側にある有珠山は噴火を繰り返しており、人々は常に噴火に備えて暮らしてきました。こういった住み続ける努力、減災の取組みもまたSDGsと結びつけて考えることができます。

明治から始まった、さけますの人工ふ化

日本人の食卓ではおなじみの「鮭」。実は縄文時代から食べられていたといわれています。時を経て明治期には、この貴重な資源を保護するため、ふ化放流事業が始動。捕獲規制などの資源維持・保護活動が進められるなかで、人工ふ化放流事業へと転換していきました。



STUDY POINT 縄文の歴史コースの「学びポイント」

- ☑ 日本で唯一、大陸と本州それぞれの文化が交わった縄文文化に出会える
- ☑ 活火山が残る洞爺湖有珠山ジオパークで、これからの「減災」について学ぶ
- ☑ 食糧生産の大切さを学ぶ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
このコースに関わる
持続可能な開発目標への取り組みは



Story Chart ストーリーチャート

2泊3日
往路／新幹線
復路／航空便

Day1

出発
新幹線
新函館北斗駅到着 北斗市

13:40
1 史跡大船遺跡見学 函館市





2 垣ノ島遺跡見学 函館市



14:30
函館市
3 縄文文化交流センター 函館市



17:10
元町エリア散策 函館市

18:15
函館山ロープウェイ 函館市

19:45
湯の川温泉宿泊 函館市

Day2

湯の川温泉出発 函館市

09:30
函館市
3 北方民族資料館見学 函館市







Day3

12:00
森町 **鷲ノ木遺跡見学**



14:40
5 洞爺湖有珠山ジオパーク見学 洞爺湖町





18:05
洞爺湖町 洞爺湖温泉宿泊



洞爺湖町 洞爺湖温泉出発

10:50
6 サケのふるさと千歳水族館見学 千歳市



12:15
千歳市 新千歳空港到着

飛行機

帰着



施設紹介



1 史跡大船遺跡

東日本における代表的な集落遺跡で、縄文時代中期（約4,000～5,500年前）のものといわれています。2021年には世界遺産に登録。竪穴住居や盛り土遺構を復元した「縄文のにわ」をはじめ、当時の環境の再現を目指した「縄文の森」など体験学習広場が整備されています。



史跡大船遺跡
〒041-1622 北海道函館市大船町575－1
TEL 0138-21-3111

2 垣ノ島遺跡

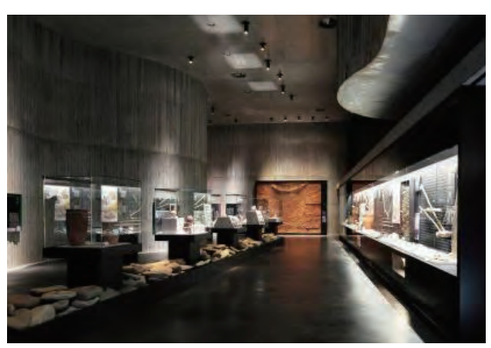
縄文時代早期から後期（約3,000～9,000年前）にかけての縄文人の暮らしぶりがうかがえる遺跡です。時代によって台地利用の変遷が分かる数多くの竪穴住居跡や墓に加えて、国内最大級規模の盛り土遺構も見つかっています。大船遺跡と同様に、東日本の縄文文化を代表する重要な遺跡といえます。



垣ノ島遺跡
〒041-1613 北海道函館市臼尻町416－4
TEL 0138-25-2030

3 函館市縄文文化交流センター

南茅部縄文遺跡群を中心に、函館市の遺跡から出土した様々な土器や石器、骨角器、さらには足形付土版や土偶といった遺物などが展示されています。なかでも注目は北海道で唯一の国宝「中空土偶」。その他にも勾玉づくりやアンギン編みなど、7種類の体験メニューが用意されています。

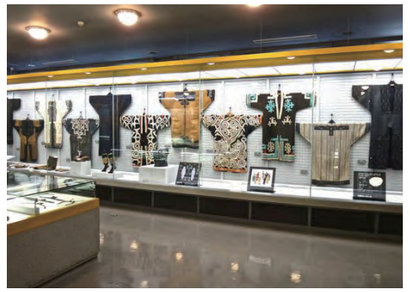


函館市縄文文化交流センター
〒041-1613 北海道函館市臼尻町551－1
TEL 0138-25-2030

4 函館市北方民族資料館

世界的にも数が少ないアイヌ民族をはじめとする北方民族資料、人類学・考古学・民俗学の権威である馬場脩氏・児玉作左衛門氏の収集した資料などが収蔵・展示されています。館内ではアイヌ民族の伝統的な楽器・ムックリの製作・演奏、伝統的紋様の切り紙細工などの楽しみながら学習できる体験講座も。





函館市北方民族資料館
〒040-0053 北海道函館市末広町21－7
TEL 0138-22-4128

5 洞爺湖有珠山ジオパーク

約11万年前の巨大噴火でできた洞爺湖、約2万年前の火山活動でできた有珠山を中心にした日本で初めてのユネスコ世界ジオパークです。繰り返される火山活動によって変動する大地の姿を体験し、同時に災害と向き合う知恵を学ぶことができます。また、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町にまたがるジオパーク内には縄文人の暮らしが分かる貝塚や、アイヌの人々の砦や祭礼場と考えられる「チャシ」など多種多様な価値を持ったみどころが数多く点在しています。



ジオパークを「歩いて」体験。



ジオパーク内にはフットパスコースや登山道、サイクリングロードなどが設けられており、自らの足で歩き、楽しみ、学ぶことができます。大地の息吹を間近に、北海道ならではの豊かな大自然が肌で感じられることでしょう。

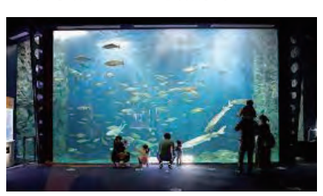




洞爺湖有珠山ジオパーク
〒049-5721 虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉町142地5
TEL 0142-74-3015

6 サケのふるさと千歳水族館

サケ・マスの近代的ふ化放流事業の発祥・千歳川のほとりに建つ、日本最大級の淡水魚水族館。館内ではサケや北方圏の様々な淡水魚の生態を観察することができ、千歳川の中まで見ることができる「水中観察室」も。こちらでは四季折々の生き物たちのいきいきとした姿を間近にすることができます。





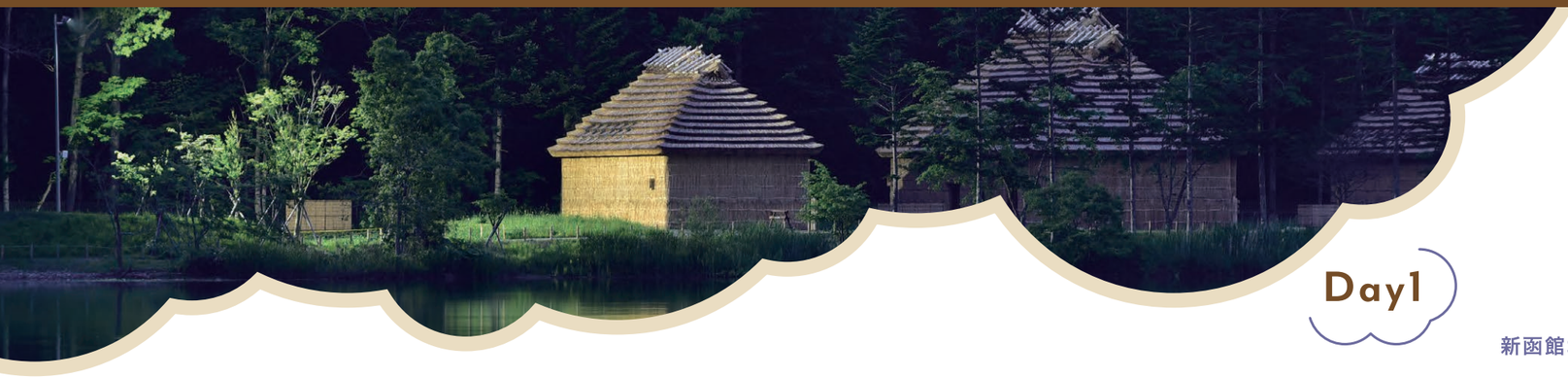
サケのふるさと千歳水族館
〒066-0028 北海道千歳市花園2丁目312
TEL 0123-42-3001

D コース

アイヌの歴史コース

想いと共に受け継がれてきたアイヌ文 化

北海道を含む広い範囲を生活圏としていたとされるアイヌ。
その歴史・文化を守り、未来へと受け継いでいくための取り組みが北海道各地で行われています。



北海道で広く継承される アイヌ文化を五感で味わう

北海道の地名の多くはアイヌ語に由来しています。これは道内各地にアイヌが先住してきたことの証（あかし）であり、アイヌの暮らしや儀式などを知ることができる施設が道内各地に所在しています。伝統的な用具や衣装などの見学だけでなく、今も継承される舞踊や口承文芸などの鑑賞も。自然界すべてのものに魂が宿るとされるアイヌの精神性を体感することができます。



提供：（公財）アイヌ民族文化財団



優れたデザインとして 注目を集めるアイヌ文様

アイヌの伝統的な衣装や用具などを見ると刺繍や木彫りなどによる美しい文様が施されていることに気づきます。これらの文様は地域や作り手によって様々に異なります。その美しさや技法を見比べることもアイヌ文化を学ぶヒントといえそうです。

アイヌの伝統芸能や工芸が体験できるプログラムも

独自の舞踊や口承文芸など、様々なアイヌ文化が受け継がれてきました。北海道各地にあるアイヌの関連施設では、この伝統芸能や工芸を実際に体験できるプログラムが用意されています。教科書では学ぶことのできないアイヌの世界観、その一端を肌で感じることができるでしょう。



提供：（公財）アイヌ民族文化財団

STUDY POINT アイヌの歴史コースの「学びポイント」

- ☑ 先住民族の歴史や文化を知り、アイヌへの理解を深める
- ☑ 北海道の気候風土に根ざしたアイヌの暮らしを体験し、持続可能な社会のあり方を学ぶ
- ☑ それぞれの文化を尊重し、互いを認め合う大切さを学ぶ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
このコースに関わる
持続可能な開発目標への取り組みは





Story Chart ストーリーチャート

2泊3日
往路／新幹線
復路／航空便

Day1

出発
新幹線
新函館北斗駅到着 北斗市
13:00
函館市 北方民族資料館見学
15:00
1 元町エリア散策 函館市





17:00
函館山ロープウェイ 函館市
18:30
函館市内宿泊 函館市

Day2

09:00
函館市内出発 函館市
13:00
2 ウポポイ（民族共生象徴空間） 白老町

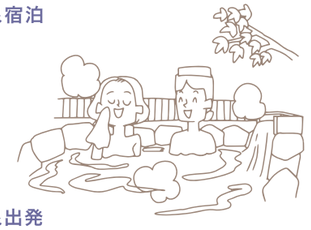
提供：（公財）アイヌ民族文化財団



16:00
3 登別市 登別地獄谷散策



17:00
登別市 登別温泉宿泊



Day3

登別市 登別温泉出発
10:30
4 平取町 平取町立 二風谷アイヌ文化博物館



13:30
5 千歳市 北海道箱根牧場



千歳市 新千歳空港到着
飛行機
帰着



アイヌ文化って
これからの
社会のあり方の
ヒントになるかも

施設紹介



1 函館元町エリア

函館山の麓に広がる函館観光の王道スポット。八幡坂から見下ろす港の風景、函館市旧イギリス領事館などの歴史的建造物など、和洋が混在した街並が愉しめることでしょう。日本で最初に開港した街であることから早くから外国人が住んでいたことをうかがい知ることができます。



函館市観光部
〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL 0138-21-3323







提供：（公財）アイヌ民族文化財団

2 ウポポイ（民族共生象徴空間）

白老町・ポロト湖畔にあるアイヌ文化の復興・発展の拠点となる空間です。アイヌの歴史と文化を主題とした日本で初めての国立博物館をはじめ、自然と共生してきた文化を感じさせるフィールドミュージアム、慰霊施設などで構成されています。ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」やムックリ（口琴）の楽器演奏などが楽しめる体験交流ホールも常設。アイヌ料理の調理や楽器演奏なども体験学習館で体験可能です。アイヌの文化・歴史を学ぶだけではなく、実際の体験を通して理解を深めることができます。

ウポポイ（民族共生象徴空間）
〒059-0902　北海道白老郡白老町若草町2丁目3
TEL 0144-82-3914

3 登別地獄谷

登別温泉の源泉。数多くの湧出口や噴気孔があり、泡を立てて煮えたぎる風景から鬼が棲む地獄谷と呼ばれるように。最近では色とりどりな四季の自然風景と地獄谷のコントラストがSNS映えすると話題になっています。また世界的にも珍しい多泉質が湧き出しており、その湧出量の豊富さが魅力です。

一般社団法人 登別国際観光コンベンション協会
〒059-0551 北海道登別市登別温泉町60番地
TEL 0143-84-3311



4 平取町立二風谷アイヌ文化博物館

国が重要文化的景観として選定した「アイヌの伝統と近代の開拓による沙流川流域の文化的景観」が広がる沙流郡平取町にある博物館。育児・娯楽・衣類・食事・住居など、この地で営まれてきた暮らしがわかる古い生活用具類や、農耕・狩猟・運搬・葬送の様子がうかがえる展示を見学することができます。また、アイヌ文化を象徴する祈りや信仰、伝説、物語などの精神文化にふれるゾーンもあり、ユカラ（叙事詩）・カムイユカラ（神謡）・ウウェペケレ（昔話）などの口承文芸を聞くことができます。この他にも体験学習や講話・舞踊・ムックリ演奏の鑑賞を楽しむことが可能です。



平取町立二風谷アイヌ文化博物館
〒055-0101北海道沙流郡平取町二風谷55
TEL 01457-2-2892



5 北海道箱根牧場

広大な農場で、有機・無農薬栽培に基づく酪農と循環型農業に取り組んでいます。こちらでは乳搾り体験、新鮮な食材を使った生キャラメルやソーセージづくり、さまざまな野菜の収穫体験ができます。また国内で唯一、水牛に乗牛することも。まさに北海道をまるごと体験できるスポットといえます。



北海道箱根牧場
〒069-1181 北海道千歳市東丘1201
TEL 0123-21-3066











新しいボールパークから新時代へ。

北海道日本ハムファイターズ

2004年から北海道を本拠地とするプロ野球チーム。移転後、リーグ優勝7回、日本一3回（2022年時点）。2023年から北広島市に北海道ボールパークFビレッジへと本拠地を移転し、野球観戦だけでなく様々なエンターテインメントやカルチャーなどが楽しめるそうです。新たな野球観戦のスタイルが北海道から広がっていくことでしょう。

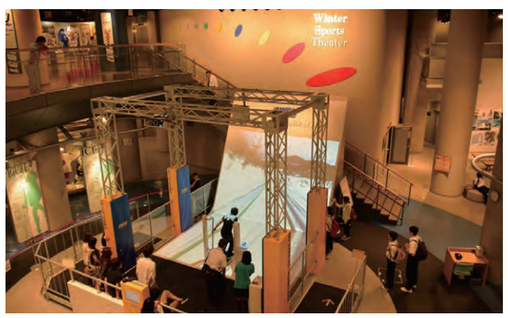
北海道から明日の「ガンバレ」を。

レバンガ北海道

Bリーグ B1に所属する北海道唯一のプロバスケットボールチーム。2011年にバスケットボール界のレジェンド折茂武彦がレバンガ北海道を創設。チーム名の由来は「がんばれ」の逆さ言葉。ホームアリーナの『北海きたえーる』は地下鉄東豊線「豊平公園」駅直結で利便性良し。アリーナ競技のため冬でも暖かい環境で試合観戦ができる。



※2023年1月現在



札幌オリンピックの感動を追体験。

札幌オリンピックミュージアム

1972年に開催された札幌オリンピック。その貴重な資料をはじめ、歴代オリンピアンの用具やメダルなどが展示されています。館内では歴史を学べるほか、ウインタースポーツのシミュレーターがあり、アスリートになった気分で体験することも。大迫力のパノラマシアターも必見です。

ジャンパーたちが眺めた風景が目の前に。

大倉山ジャンプ競技場

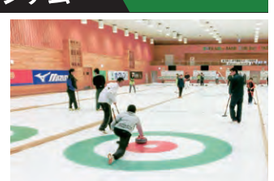
オリンピックミュージアムの目の前にそびえるジャンプ台。競技以外でもリフトで展望台まで上れば、日本新三代夜景に選ばれている札幌の街並を一望することができます。



国際大会も開催する日本初の通年型施設。

どうぎんカーリングスタジアム

全国で初めての通年型カーリング専用施設。5つのカーリングシートが設けられ、国際大会にも対応した設備が整っています。用具一式もレンタルできるので気軽に挑戦することも。



スポーツアイランド・北海道で、大きな夢を拓く



道産子チームがFリーグで躍動。

エスポラーダ北海道

Fリーグに所属するフットサルクラブ。所属選手全員が道産子（北海道出身・2022年現在）。雪国でも室内で楽しめるフットサルは北海道でも人気です。

北海道とともに世界を目指す。

北海道コンサドーレ札幌

1996年に誕生した北海道で初めてのプロスポーツクラブ。J1所属。地元に密着した取り組みはもちろん、本拠地である北海道との取り組みなどで地域貢献をしています。本拠地の札幌ドームは、可動式天然芝サッカーフィールド・ホヴァリングサッカーステージが導入されており、サッカーだけでなくコンサートや展示会など多目的に利用することができます。



北海道が未だ見ぬ熱狂と誇りを。

ヴォレアス北海道

日本初のプロバレーボールチームとして2016年に誕生。本拠地は旭川市を中心に鷹栖町・東川町・比布町。悲願のV1リーグ昇格に向けて奮闘中です。



新しいスポーツチームのカタチを創る。

サフィルヴァ北海道

2019/2020シーズンからVリーグに参戦するプロバレーボールチーム。本拠地は札幌市。世界初のデジタルオーナー権を発行し、参加型クラブ経営環境構築を目指しています。



日本アイスホッケーのパイオニア。

レッドイーグルス北海道

1925年に創設した日本アイスホッケーの草分け。本拠地は苫小牧市。日本リーグ時代は優勝13回、アジアリーグ2回、全日本選手権37回、ジャパンカップ2回を誇る古豪です。



「ひがし北海道」から新たな飛躍を誓う。

ひがし北海道クレインズ

釧路市を本拠地とするアイスホッケーチーム。アジアリーグ優勝4回、全日本選手権優勝9回の強豪。愛称のクレインズは釧路平野を飛ぶ丹頂鶴に由来しています。















E コース

産業の歴史コース

北海道が育んできた地域産業

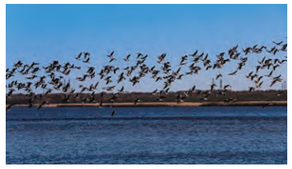
北海道では、その豊かな自然という資源を生かした産業が数多く発展してきました。
日本全体を見渡しても貴重な資源を、どのように未来に向けて生かしていくのかを肌で感じながら考えていきましょう。

明治から始まった 北海道の石炭採掘の歴史。

江戸末期に外国船から石炭の補給を求められ、現在の釧路で最初の採掘が始まりました。明治に入ると全道的な地質調査が行われ、各地に炭鉱が誕生することに。そのなかのひとつ、夕張川上流で大露頭が発見されたことから「炭鉱の街・夕張」へと歴史が紡がれていきました。



澄み渡る清流が育む野鳥の楽園 ラムサール条約に登録されたウトナイ湖



工業都市のイメージが強い苫小牧。その一方で美々川の清流が注ぎ、動植物の宝庫と謳われるウトナイ湖があります。ここでは現在までに270種を超える鳥類が確認され、野鳥の楽園と呼ばれるほど。また渡鳥にとっても重要な中継地で、マガンや白鳥の集団渡来地としても世界的に知られています。

体験を通して、命をつなぐ「食」と第一産業のあり方を学ぶ

比較的、温暖な気候に恵まれるニセコ・羊蹄エリア。ここでは畑作や果樹園、酪農などの第一産業が発展しています。そんな食材の宝庫・北海道の代名詞のようなエリアで、魅力を肌で感じ取ってもらうために、農業体験・牧場体験を通して生産現場で「食」の大切さを学ぶことができます。



STUDY POINT 農業の歴史の「学びポイント」

- 国際的な歴史背景から始まった北海道における炭鉱の隆盛を学ぶ
- 北海道の大地が育んだ自然や生態系を知り、環境保護の重要性を知る
- 食材の宝庫・北海道、その生産現場で「食」の大切さを体験する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
このコースに関わる
持続可能な開発目標への取り組みは





Day1

出発
新幹線
新函館北斗駅到着 北斗市
13:00
函館朝市体験学習 函館市
15:00
元町エリア散策 函館市
17:00
函館山ロープウェイ 函館市
18:30
湯の川温泉宿泊 函館市

Day2

湯の川温泉出発 函館市
12:00
農業・牧場・漁業体験 蘭越町 1



留寿都村宿泊 留寿都村
17:00

Day3

留寿都村出発 留寿都村
10:00
ウトナイ湖 野生鳥獣保護センター 苫小牧市 2



Story Chart ストーリーチャート

3泊4日
往路／新幹線
復路／航空便

11:30
千歳市 北海道箱根牧場
14:00
3 札幌市 北海道博物館見学



16:00
4 札幌市 札幌市 アイヌ文化交流センター
18:00
札幌市 札幌もいわ山ロープウェイ
19:30
札幌市 札幌市内宿泊

Day4

札幌市 札幌市内出発



10:00
5 札幌市 北海道本庁旧庁舎
13:00
6 夕張市 夕張市石炭博物館



千歳市 新千歳空港到着
飛行機
帰着



たくさんの人たちが
この大自然を
守っているんだね

施設紹介



1 農業・牧場・漁業体験

ニセコ・羊蹄エリアを中心に、地域産業ふれあい体験として一次産業体験日帰りプログラムが実施されています。



有限会社マルベリー
〒048-1321 北海道磯谷郡蘭越町字湯里224番地19
TEL 0136-58-3388

2 ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

ラムサール条約に登録されるウトナイ湖は原野、湿原など豊かな自然環境に囲まれた、美々川の清流が注ぎ込む淡水湖。保護センターでは、その生態系や湿原の歴史、周辺環境などを展示や大型スクリーンで紹介しています。また、バードウォッチングなどが楽しめる自然観察路や観察小屋なども設けられています。



ウトナイ湖野生鳥獣保護センター
〒059-1365北海道苫小牧市植苗150-3
TEL 0144-58-2505

3 北海道博物館

「森のちゃれんが」という愛称で親しまれる道立の総合博物館。「北東アジアのなかの北海道」「自然と人とのかかわり」をコンセプトに、北海道の自然・歴史・文化を5つのテーマに分けて展示しています。様々なテーマで企画展も開催。また、スマホアプリを利用した多言語展示解説にも対応しています。



北海道博物館
004-006 北海道札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
TEL 011-898-0466

4 アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」

「サッポロピリカコタン」とは、アイヌ語で「札幌の美しい村」という意味。アイヌの暮らしや文化、歴史などを学ぶことができる施設です。展示室には実際に手に取って見ることができる物も。屋外には、かつてアイヌ民族が住んでいたチセ（家屋）やプ（倉）などが再現されており、自然と共生していたアイヌの生活を体験することができます。



アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」
〒061-2274 北海道札幌市南区小金湯27
TEL 011-596-5961

5 北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）

開拓の象徴として北海道を見守ってきた通称「赤れんが庁舎」。1888年に建てられたアメリカ風ネオ・バロック様式の建築で、明治時代に作られたひずみのあるガラスなどが当時の雰囲気を感じさせます。一般開放される館内は歴史や文化、地域情報などを発信する北海道の観光情報拠点になる予定です。　※現在改装中／2025年度リニューアルオープン予定



北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）
〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL 011-204-5019



庁舎前に広がる庭園も見どころのひとつ。

庁舎の前には桜やハマナス、イチョウなど、約100種・1,000本もの樹々が植えられています。四季折々の風景と赤れんがのコントラストが美しい「映える」スポットです。

6 夕張市 石炭博物館

閉山した夕張市の炭鉱の歴史を次代に伝える博物館。これまで日本の産業を支えてきた北海道の石炭産業の歴史を伝え、炭鉱とともに歩んできた夕張市の歴史を映像や実際に使用していた炭鉱の機器を通して学ぶことができます。



夕張市石炭博物館
〒068-0401 北海道夕張市高松7番地
TEL 0123-52-5500



F コース

未来の北海道コース

未来を描いてきた北海道というストーリー

北海道には環境や気候・風土を生かして取り組みを進める街や企業がたくさんあります。
この自然との共生は、これからさらに重要なものに。常に時代を先駆けてきた北海道ならではのアイデアをご紹介します。



外国人観光客に大人気！ ニセコが世界的に有名になった理由

ニセコは外国人観光客に人気が高いことをご存じでしょうか。その理由は「雪質」。ニセコは気温が低く、雪に含まれる水分が少ないことから雪玉になりにくいフワフワのパウダースノーになるのです。世界中のスキーヤーが憧れるスキーリゾートとして、ニセコは益々発展していくことでしょう。





北海道の町工場から宇宙へ チャレンジの先に大きく広がる未来

北海道では、企業や教育機関によって宇宙をテーマにした様々な取組みが進められています。そのなかでも赤平市の植松電機は、数々の実績を重ねてきた草分け的存在。北海道大学とロケット開発に取り組むなど、宇宙開発関連の研究や実験を積極的に進めている注目の「町工場」です。

札幌の都市機能を飛躍的に高めた冬季オリンピック

実は、オリンピックは開催地にとって重要な街の建設・整備のきっかけでもあるのです。札幌は、冬季五輪を機に各種競技場が建設され、今も市民に親しまれています。さらに五輪開催に合わせて交通網や商業施設が整備され、市民にとってかけがえのない生活インフラとなりました。



札幌市公文書館所蔵

STUDY POINT 未来の北海道コースの「学びポイント」

- ☑ 自然との共生を大切に考えた、北海道の街づくりや街おこしを知る
- ☑ 宇宙開発の取組みを通して、夢を持つこと、挑戦することの大切さを学ぶ
- ☑ 長年にわたって発展を続ける札幌の都市機能について知る

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
このコースに関わる
持続可能な開発目標への取り組みは



Story Chart ストーリーチャート

3泊4日
往路／新幹線
復路／航空便

Day1

出発
新幹線
新函館北斗駅到着 北斗市
14:10
1 伊達市観光物産館（次世代エネルギーパーク関連施設） 伊達市
16:20
ニセコエリアで体験学習プログラム 倶知安町
19:05
ニセコ町宿泊 ニセコ町

Day2

ニセコ町出発 ニセコ町
09:55
2 ニセコエリアでネイチャーツアー ニセコ町



13:15
3 ニッカウヰスキー余市蒸留所見学 余市町



15:05
4 小樽エリアでとんぼ玉制作体験 小樽市





15:40
小樽運河散策 小樽市

Day3

18:00
小樽市 小樽市内宿泊



小樽市 小樽市内宿泊
10:00
5 赤平市 植松電機で学習体験
15:30
6 札幌市 白い恋人パーク



18:05
札幌市 札幌もいわ山ロープウェイ
18:55
札幌市 札幌市内宿泊

Day4

札幌市 札幌市内出発



10:10
札幌市 札幌オリンピックミュージアム
12:30
千歳市 雪ミク スカイタウン見学
千歳市 新千歳空港到着
飛行機
帰着



時代の最先端って
実は北海道に
あるのかも

施設紹介



1 伊達市観光物産館

伊達市次世代エネルギーパークの中核施設であり、市内の次世代エネルギー関連施設の情報を展示するとともに、伊達市の観光拠点として文化・観光施設や温泉、宿泊施設などを総合的にご案内しています。



伊達市観光物産館
〒052-0012 北海道伊達市松ヶ枝町34番地1
TEL 0142-25-5567

2 ニセコエリア ネイチャーツアー

大自然が広がるニセコでは、春から秋にかけて目の前に広がる雄大な風景を眺めながらハイキングやトレッキングを、澄んだ川の水でラフティングやカヌーなどを楽しむことができます。冬であればスキーだけでなく、スノーシューを履いて白銀の森を散策することも。季節によっては、ここでしか出会えない花々や動物に出会えるかもしれません。各種ネイチャーツアーを通して、バスや列車の車窓からでは体験できないニセコの大自然を全身で満喫することができます。



ニセコリゾート観光協会
〒048-1512 北海道虻田郡ニセコ町字中央通142番地1
TEL 0136-44-2468





3 ニッカウヰスキー余市蒸留所

日本ウイスキーの父と呼ばれる創業者・竹鶴政孝。彼が理想のウイスキーをつくるために選んだのが、スコットランドに近い冷涼で湿潤な余市町でした。そんな聖地とも呼ばれる地では今もなお、こだわりのウイスキーがつくられています。その製造工場やミュージアムなどの見学を通して、ものづくりへの情熱や受け継がれる想いが感じられることでしょう。



ニッカウヰスキー余市蒸留所
〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町7-6
TEL 0135-23-3131

4 とんぼ玉制作体験

ガラス工芸の街としても有名な小樽。ここで人気なのが、とんぼ玉づくりです。とんぼ玉とは、1～2cm程度のガラス球に穴を開けてストラップやネックレスなどに仕立て上げるというもの。初めての方でもスタッフが丁寧に教えてくれるので安心です。色も形も世界でひとつの作品が、旅の思い出として輝き続けることでしょう。



大正硝子 とんぼ玉館
〒047-0031 小樽市色内1-1-6
TEL 0134-32-5101

5 株式会社植松電機

植松電機は、鉄の分別・収集などを行うバッテリー式マグネットシステムの開発や航空宇宙をはじめとした様々な分野の研究開発事業を展開。その一方で、植松社長を中心に教育事業にも注力しており、モデルロケット製作・打ち上げ体験やロケットエンジンの燃焼試験の見学などの様々なプログラムを実施しています。





株式会社植松電機
〒079－1101 北海道赤平市共和町230番地50
TEL 0125-34-4133

6 白い恋人パーク

北海道を代表する銘菓「白い恋人」の製造工程を見学したり、チョコレートの歴史を学ぶことができる、しあわせとお菓子のテーマパーク。実際にお菓子づくりを体験することができます。



白い恋人パーク
〒063-0052 北海道札幌市西区宮の沢2条2丁目11-36
TEL 011-666-1481

G コース

北海道まるごと体験コース

地球の記憶に想いを馳せ、遥かなる宇 宙へ

北海道には縄文時代の生活を知る遺跡があり、アイヌ民族の文化が根付いています。その反面で宇宙開発など、未来に向けた取り組みにも積極的。そういった多彩な魅力を持っていることもまた北海道らしさといえるでしょう。



アイヌが継承してきた文化をしっかりと未来へ守り伝えていくこと

平取町の二風谷地域を中心に取り組みが進められるチセ建築の技術継承をはじめ、祈り言葉、作法などの継承活動が定期的に行われています。またアイヌ文様とアイヌ口承文芸、アイヌ語地名が北海道遺産に選定。「二風谷イタ」と「二風谷アットゥシ」も経済産業省の伝統的工芸品に北海道で初めて指定されました。





地理的に高いポテンシャルを持つ宇宙に向けた天然の良港・大樹町

「宇宙のまちづくり」を掲げる大樹町は、十勝晴れといわれるほど高い晴天率を誇り、太平洋に面した立地にあることからロケット打ち上げに理想的な場所とされています。そのため30年以上前からJAXA（宇宙航空研究開発機構）をはじめ企業や大学などの研究機関が航空宇宙実験を行ってきました。

世界遺産の遺跡から紐解く縄文時代の文化

1万年以上に渡って自然と共生してきた縄文文化を間近で感じられる、北海道・北東北の縄文遺跡群が2021年に世界遺産に登録されました。北海道からは6か所の遺跡が選ばれ、本格的な定住の始まりから成熟した社会の様子などを垣間見ることができます。



STUDY POINT

北海道まるごと体験コースの「学びポイント」

- ☑ アイヌ文化の継承活動について学ぶ
- ☑ 「宇宙」という新しいフィールドから学びを深める
- ☑ 1万年続いた縄文時代から現代社会を生き抜くヒントを見つける

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
このコースに関わる
持続可能な開発目標への取り組みは



Story Chart ストーリーチャート

2泊3日
往路／新幹線
復路／航空便

Day1

出発
新幹線
新函館北斗駅到着 北斗市
13:00
松前城・松前城資料館見学
松前町
15:00
1 伊達市
伊達市
史跡北黄金貝塚公園見学・模擬発掘体験





登別温泉宿泊 登別市
18:30

Day2

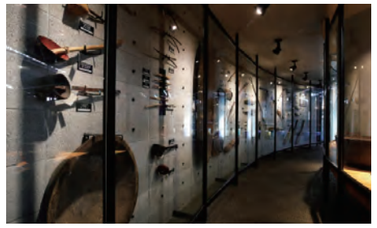
登別温泉出発 登別市
08:30
2 白老町
09:00
ウポポイ（民族共生象徴空間）博物館見学・伝統芸能鑑賞

提供：
（公財）アイヌ民族文化財団



Day3

3 平取町
13:30
平取町立二風谷アイヌ文化博物館



18:00
音更町 十勝川温泉宿泊



Day3

音更町 十勝川温泉出発
09:20
4 大樹町
大樹町
宇宙交流センター SORA
北海道スペースポート見学



千歳市 新千歳空港到着
飛行機
帰着



北海道は魅力が多すぎてまた来たい！！

施設紹介



1 史跡 北黄金貝塚公園

2021年に登録された世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のひとつ。定住発展期前半（約4,500～7,000年前）の貝塚を伴う集落には竪穴建物、墓、水場遺構など多様な施設があったことがうかがえます。縄文時代の人々の生活と精神文化を今に伝える貴重な文化遺産で、これらの出土品は併設された北黄金情報センターに展示されています。



史跡北黄金貝塚公園
〒059-0272　北海道伊達市北黄金町75
TEL 0142-24-2122

2 ウポポイ（民族共生象徴空間）

白老町・ポトロ湖畔にあるアイヌ文化の復興・発展の拠点となる空間です。アイヌの歴史と文化を主題とした日本で初めての国立博物館をはじめ、自然と共生してきた文化を感じさせるフィールドミュージアム、慰霊施設などで構成されています。ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」やムックリ（口琴）の楽器演奏などが楽しめる体験交流ホールも常設。アイヌ料理の調理や楽器演奏なども体験学習館で体験可能です。このようにアイヌの文化・歴史を学びだけではなく、体験を通して理解を深めることができます。



ウポポイ（民族共生象徴空間）
〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3
TEL 0144-82-3914





提供：（公財）アイヌ民族文化財団

3 平取町立二風谷アイヌ文化博物館

アイヌの暮らしがわかる古い生活用具類、農耕・狩猟・運搬・葬送の様子がうかがえる展示がされています。また、アイヌ文化を象徴する祈りや信仰、伝説、物語などの精神文化にふれるゾーンも設けられ、昔話などの口承文芸を聞くこともできます。体験学習や舞踊、ムックリ演奏の鑑賞を楽しむことも可能です。（要予約）



平取町立二風谷アイヌ文化博物館
〒055-0101北海道沙流郡平取町二風谷55
TEL 01457-2-2892

4 大樹町宇宙交流センターSORA

町で行われている航空宇宙に関する様々な実験や取組みを発信する施設。館内には、これまで大樹町で打ち上げたロケットをはじめ、JAXAによる実験装置や模型など貴重な品々を展示しています。また、モデルロケットの製作・打上げ体験や、H-IIBロケットの発射時の爆音も体験することができます（団体のみ）。アジア初となる民間にひらかれた宇宙港「北海道スペースポート」で遥か遠い存在だった宇宙を身近に感じることができるでしょう。



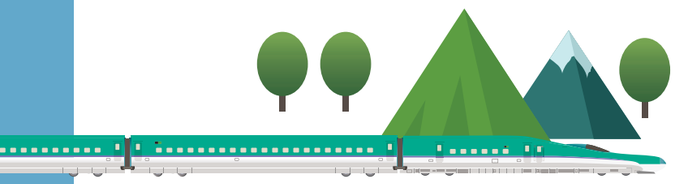




大樹町宇宙交流センター SORA
〒089-2115 北海道広尾郡 大樹町美成169
TEL 01558-6-2113（大樹町役場企画課）

Hokkaido Story Collection

INDEX
施設紹介



アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」 32
〒061-2274 北海道札幌市南区小金湯27
TEL 011-596-5961

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 31
〒061-2274 北海道札幌市南区小金湯27
TEL 011-596-5961

ウポポイ（民族共生象徴空間） 25・39
〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3
TEL 0144-82-3914

大倉山ジャンプ競技場 28
〒064-0958 北海道札幌市中央区宮の森1274
TEL 011-641-8585

大沼国定公園 12・15
〒041-1354 北海道亀田郡七飯町大沼町85-15
TEL 0138-67-3020

垣ノ島遺跡 21
〒041-1613 北海道函館市臼尻町416－4
TEL 0138-25-2030

株式会社植松電機 36
〒079－1101 北海道赤平市共和町230番地50
TEL 0125-34-4133

五稜郭公園 07・12
〒040-0001 北海道函館市五稜郭町44
TEL 0138-21-3456

サケのふるさと千歳水族館 22
〒066-0028 北海道千歳市花園2丁目312
TEL 0123-42-3001

札幌オリンピックミュージアム 28
〒064-0958 北海道札幌市中央区宮の森1274
TEL 011-641-8585

サッポロビール博物館 07
〒065-8633 北海道札幌市東区北7条東9丁目1-1
TEL 011-748-1876

史跡大船遺跡 16・21
〒041-1603 北海道函館市臼尻町551-1
TEL 0138-25-2030

史跡北黄金貝塚公園 39
〒059-0272 北海道伊達市北黄金町75
TEL 0142-24-2122

白い恋人パーク 36
〒063-0052 北海道札幌市西区宮の沢2条2丁目11-36
TEL 011-666-1481

大樹町宇宙交流センターSORA 40
〒089-2115 北海道広尾郡 大樹町美成169
TEL 01558-6-2113（大樹町役場企画課）

大正硝子 とんぼ玉館 36
〒047-0031 小樽市色内1-1-6
TEL 0134-32-5101

伊達市次世代エネルギーパーク 35
〒052-0012 北海道伊達市松ヶ枝町34番地1
TEL 0142-25-5567

どうぎんカーリングスタジアム 28
〒062-0051 北海道札幌市豊平区月寒東1条9丁目1-1
TEL 011-853-4572

洞爺湖有珠山ジオパーク 22
〒049-5721 虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉町142地5
TEL 0142-74-3015

トラピスチヌ修道院 07
〒042-0914 北海道函館市上湯川町346
TEL 0138-57-2839

ニセコリゾート観光協会 35
〒048-1512 北海道虻田郡ニセコ町字中央通142番地1
TEL 0136-44-2468

ニッカウヰスキー余市蒸留所 36
〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町7-6
TEL 0135-23-3131

登別国際観光コンベンション協会 26
〒059-0551 北海道登別市登別温泉町60番地
TEL 0143-84-3311

函館朝市 16
〒040-0063 北海道函館市若松町9-19
TEL 0138-22-7981（函館朝市協同組合連合会事務局）

函館市観光部 25
〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL 0138-21-3323

函館市縄文文化交流センター 21
〒041-1613 北海道函館市臼尻町551-1
TEL 0138-25-2030

函館市北方民族資料館 22
〒040-0053 北海道函館市末広町21－7
TEL 0138-22-4128

箱館奉行所 12
〒040-0001 北海道函館市五稜郭町44番3号
TEL 0138-51-2864

函館山ロープウェイ 16
〒040-0054 北海道函館市元町19-7
TEL 0138-23-3105

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 26・40
〒055-0101北海道沙流郡平取町二風谷55
TEL 01457-2-2892

北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎） 32
〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL 011-204-5019

北海道博物館 31
004-006 北海道札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
TEL 011-898-0466

北海道箱根牧場 26
〒069-1181 北海道千歳市東丘1201
TEL 0123-21-3066

幕別町観光物産協会 07
〒089-1701 北海道幕別町忠類白銀町383
TEL 01558-8-2111

松前城・松前城資料館 11
〒049-1511 北海道松前郡松前町字松城
TEL 0139-42-2216

松前藩屋敷 11
〒049-1507 北海道松前郡松前町字西館68
TEL 0139-43-2439

有限会社マルベリー 31
〒064-0958 北海道札幌市中央区宮の森1274
TEL 011-641-8585

夕張市石炭博物館 32
〒068-0401 北海道夕張市高松7番地
TEL 0123-52-5500

雪ミク スカイタウン 17
〒066-0012 北海道千歳市美々新千歳空港 国内線ターミナルビル4F
TEL 0123-45-0039

リエネ松前風力発電施設 15
〒049-1501 北海道松前郡松前町建石

鷲ノ木遺跡 12
〒049-2321 北海道茅部郡森町字鷲ノ木町
TEL 01374-3-2240